

聖書が指し示す方

(Ⅱテモテ3・14～17)

一、学んで確信した信仰

テモテはどのようにして信仰者になり、キリスト信仰を保っていたのでしょうか。それは、使徒パウロを始めとする面々から学んだことが基本にあったようです。14節に「けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの人たちからそれを学んだかを知っており、」とあるからです。

二、福音の光に照らされて

続いて、15節を見てまいります。まず前半です。「また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。」とあります。「知っているからです」の主語はだれでしょうか。テモテです。「テモテよ、あなたは知っていますよね」とパウロが語っています。テモテのことは、使徒の働き16章に現れます。父親はギリシヤ人、すなわち異邦人であったものの、母親はユダヤ婦人でした。ということ、テモテは幼いときから母親の下で聖書を、すなわち律法の言葉を学んで育ったことが分かります。ところが、祖母と母親がキリスト信仰を持ち、自らもイエス・キリストを信じ

ました。そのことが、テモテへの手紙第21章5節に書かれています。

元のところに戻りまして、15節の後半を見てまいります。「聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。」この短い一文の中に、聖書の性質がみごとに言い表されています。「聖書」とは、律法の書のことを、すなわち私たちが旧約聖書と呼んでいる書のことを指しています。テモテへの手紙が書かれた時点で、新約聖書の文書はまだできていなかったからです。ということは、極論的に申しますと、新約聖書がなくても旧約聖書にイエス・キリストの福音の光を当てるだけで、旧約聖書が救いをもたらす神の言葉になるのです。それを語っているのが、15節後半です。この箇所は新共同訳の解釈がしっくり来ると思えます。「【新共同訳】この書物は、キリスト・イエスへの信仰を通して救いに導く知恵を、あなたに与えることができます。」とあります。すなわち、旧約の文書にイエス・キリストの福音の光を当てるなら、旧約の文書が救いをもたらす神の言葉になるのです。

たとえば詩篇1篇です。「詩篇1・2

3【新改訳2017】主のおしえを喜びとし、昼も夜も、そのおしえを口ずさむ人。その人は、流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結び、その葉は枯れず

そのなすことはすべて栄える。」とあります。「主のおしえ」とは、詩篇における元の意味は律法(トーラー)です。しかし、私たちは律法の言葉とは読まずに、「聖書の教え」「聖書の言葉」「イエス・キリストの福音の言葉」として読みます。それが、教会の読み方だからです。

三、聖書は靈感された書物

続いて、16節を見てまいります。「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。」とあります。聖書とは不思議な書物です。すばらしいことが書いてあるから聖書なのではありません。聖書の中に取り入れられたものは、聖書を構成する一部として特別なものとなりました。それが何なのかと申しますなら、「靈感されている」ことです。すなわち、神の息が吹き込まれているという意味です。そういう意味で、聖書は特別な書物です。では、この聖句が語っている「聖書」は、何を指すのでしょうか。先ほども申しましたように、この手紙が書かれた時点ではまだ新約の文書ができていませんでしたから、「律法」と「預言者」、そして詩篇等を含む「諸書」を指しました。では、この聖句が指している「聖書」に、新約聖書は入らないのでしょうか。キリスト教会は次のように受け止めています。新約聖書の範囲が定まったとき、テモテへの手紙

第二に書かれている「聖書」は旧新約66巻を指していると。それは、聖書の性質が何なのかを知ることによって理解していただけたと思います。聖書は、旧約39巻、新約27巻からなる一冊の書です。ここが大切です。聖書は66巻から構成されていますが、実は一冊の書物なのです。66巻から成る双書、すなわちシリーズものの書物ではないのです。ですから、テモテへの手紙が「聖書はすべて神の靈感によるもので」と語るとき、この手紙が出された時点において「聖書」は、律法と預言者、諸書を指していたとしても、テモテへの手紙が聖書に組み込まれた時点で、旧新約66巻から成る聖書を指すようになりました。そして、神の靈感を受けた聖書は、16節の後半に書かれていますように、「教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」

四、聖書は信仰者を整える

最後に、17節を見てまいります。「それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」とあります。主に仕えたい、主にこの身を献げたい、主に従っていききたいと願う「神の人」が整えられ、磨かれるために必要なものは聖書です。聖書を読み、聖書から養われる術(すべ)を身に着けるのが、信仰者にとつて必要不可欠です。